

くだまつ

社協

だより



2014.11/1 NO.151号

社会福祉法人 下松市社会福祉協議会

〒744-0022 下松市大字末武下617番地2

下松福祉センター内

TEL 41-2242 FAX 41-2330

<http://www.kudamatsu-syakyo.or.jp/>

くだまつを
良くする
しくみ



目次（主な内容）

- 赤い羽根共同募金2、3P
- 第37回「愛のバザー」4、5P
- 地区社協リレー6P
- 善意の花束7P
- お知らせ8P

皆さまの温かいご支援に支えられ、今年も10月1日から、「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まりました。

この運動に対する関心を高めるために、10月1日市内の4店舗で市民の皆さまへ共同募金運動の始まりを告げる街頭募金を行いました。

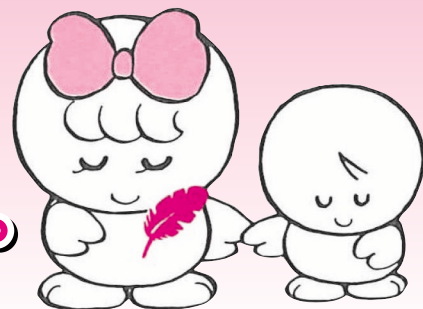
お寄せいただいた善意の募金は、私たちの地域へ還元され下松市の福祉の充実に役立てられます。皆さまの温かいご支援ご協力をお願いします。

～赤い羽根共同募金運動 10月1日から12月31日～

ひとり、ひとりのやさしさが、
下松の町を、もっと、やさしくしてくれます。

**赤い羽根共同募金は、
「じぶんの町を
良くするしくみ」です。**

運動期間 10月1日～12月31日



共同募金運動は、昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まって以来「赤い羽根共同募金運動」として広く定着をし、毎年多くの皆さまのご理解とご協力のもと、地域福祉の推進のために大きな役割を果たしてきました。

赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどを支援する、地域のさまざまな福祉活動に役立てられています。また、災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災地支援にも役立てられています。

今年も地域において、さまざまな地域福祉課題解決に取り組む、民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として募金活動を展開してまいります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

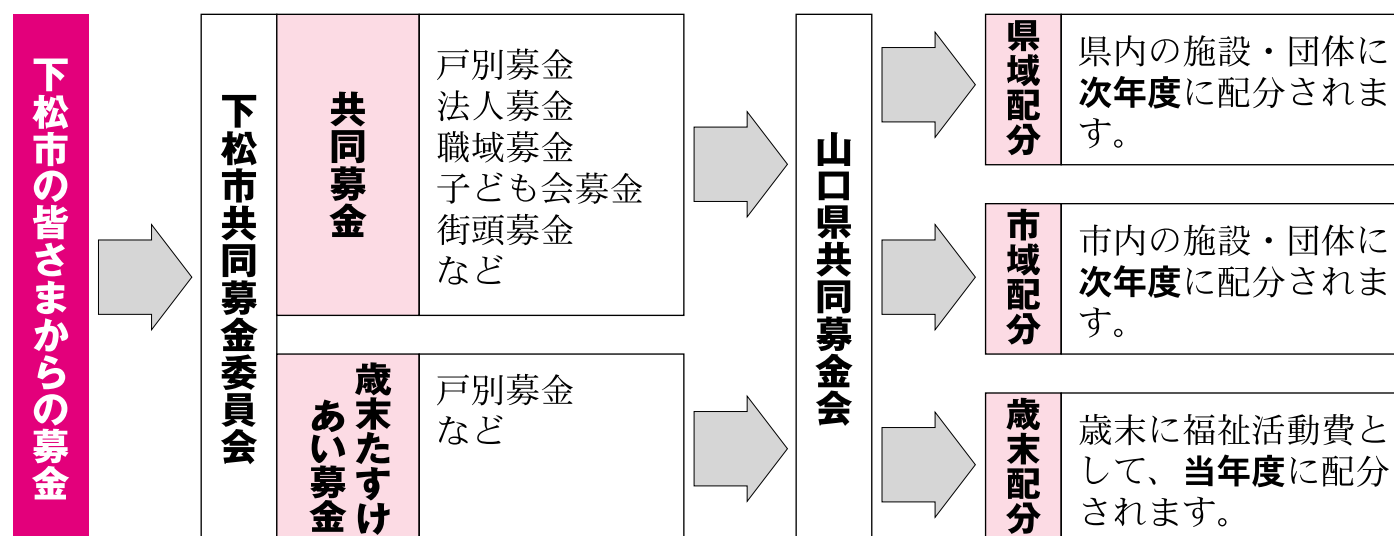
平成26年度山口県共同募金会下松市共同募金委員会

目標額(必要額)は、**13,000,000円**

【共同募金:11,800,000円／歳末たすけあい募金:1,200,000円】

今年もご協力よろしく申し上げます。

【共同募金の流れと使いみち】



～赤い羽根が、あなたの気持ちを届けます～

平成25年度赤い羽根共同募金(下松市分)への善意の募金は **12,681,633円**でした。

皆さまからお寄せいただいた共同募金は、このように活用されています。



高齢者のために
4,285,633円
高齢者へのふれあい弁当、
老人クラブ事業費などへ



子どもたちのために
200,000円
子ども会活動助成へ



障がい者のために
1,200,000円
各当事者団体の事業と支援
するための配分として



母子家庭のために
110,000円
当事者団体への援助等へ



地域の福祉活動のために
1,600,000円
地域での福祉活動費などへ



**県内の社会福祉
団体のために**
4,580,000円
社会福祉施設整備、社会福祉団体の事業へ



歳末たすけあいに
706,000円
(昨年末に配分されました)
歳末施設見舞い、要支援者へ

皆さまから寄せられた募金の約64%が
下松市の福祉の為に役立てられています。
残りの約36%については、県内の民間
社会福祉施設・福祉関係団体へ施設整備費・
事業費として活用されています。

**赤い羽根共同募金は、誰もが安心して暮らせるまちづくりのために
住民福祉活動を支援します。**

福祉活動支援事業のご案内

山口県共同募金会下松市共同募金委員会では、市民のみなさんが活躍されている住民福祉活動の「あんなこと」、「こんなこと」を財源面から支援します。

■対象団体

市内に活動の拠点を置く団体で、住民福祉向上のための活動を、1年以上継続していること。または1年未満であっても、その活動が先駆的かつ住民福祉向上に効果があると認められる団体。

- 対象事業
- 1 高齢者を支援する活動
 - 2 障がい児(者)を支援する活動
 - 3 児童・子育て支援に関する活動
 - 4 その他住民福祉向上に寄与する活動

※ただし、団体の運営に要する経費や趣味及び娯楽性の高い備品等は認めない。

- 事業時期 対象とする事業は、平成27年4月～平成28年3月までの活動。

■助成内容

1 事業20万円を上限とします。

■審査

助成を受けようとする団体は、事前にヒアリングを受け、その内容と申請書をもとに当委員会に設置する審査委員会において審査し、助成の可否を決定します。

なお、配分決定後事業の実施に当たっては、各種資料等で明示すること。

■募集期間 平成26年11月1日～11月30日

■資料請求・問い合わせ先

〒744-0022

下松市大字末武下617-2 下松福祉センター内

山口県共同募金会下松市共同募金委員会事務局
(下松市社会福祉協議会)

TEL41-2242 FAX41-2330

まずは、ご相談ください!!

～安心して暮らせるまちに～

第37回 愛のバザー

多くの方にご参加いただき
ご協力ありがとうございました。

第37回「愛のバザー」を9月14日、ほしらんどくだまつ（下松中央公民館）を会場に開催しました。

この「愛のバザー」は市民の方々に対して福祉活動への参加と協力を呼びかけ、善意とボランティア活動の輪を広げ、福祉に対する関心と理解を深めていただくと共に、各種福祉団体の活動資金に必要な財源づくりのために、毎年9月の第2日曜日を「愛のバザー」の日として開催しているものです。

このバザーの開催にあたっては、7月24日に「愛のバザー」の実行委員会を各種関係団体、ボランティアグループにより結成し、「愛のバザー」実施に向けて取り組みました。8月1日から9月10日にかけて寄附物品の呼びかけを行い、自治

会をはじめ、各種関係団体等を通じて市民の皆さま方のご理解とご協力により、多くの寄附物品が寄せられました。

物品の仕分け整理、価格表示、箱詰めに当たりましては、9月4日から9月10日まで連日にわたり、各地区の民生委員の方々、ボランティアグループの方々にお手伝いをしていただき、大変ご苦勞をおかけしました。

また、バザー前日の13日には、残暑厳しい中を、民生委員、地区労働者福祉協議会の方々、地区社協の方々、ボランティア、関係者の方々のご協力により、物品の運搬から、会場の設営、陳列までしていただき、大変ご苦勞をおかけしました。

バザー当日の14日は、天候に恵まれ、ほしらんどくだまつには、開店を待つ長蛇の列が出来上がり、多くの方々にお越しいただきました。販売から会場整理などには、約350人のボランティアが活躍して、会場は、多くの人で賑わい、大変盛況のうちに終了しました。

ここに物品を寄附していただきました方々、また、当日お買い上げにご協力いただきました方々、連日にわたりボランティアとして

活躍していただきました方々に深く感謝を申し上げ、今回の実績を報告いたします。

この愛のバザーに寄せられた収益金は共同募金会を通じ、本市社協が行う地域福祉活動や市内の福祉施設・団体の活動資金として有効に活用させていただきます。



開店を待つ長蛇の列



衣類コーナー



日用雑貨コーナー

～福祉の輪 広がる街に 明るい未来～

(5) くだまつ社協だより



玩具コーナー



食料品コーナー



陶器コーナー



大型物品コーナー



屋台コーナー



バルーンコーナー

バザーに多数の物品を提供していただきまして、誠にありがとうございます。この紙面を通し厚くお礼を申し上げます。

なお、経費削減のため、個別の礼状は遠慮させていただきますので、ご了承ください。

お願い

「愛のバザー」収支報告

◇収支

◇収入 (単位:円)

売上高	1,893,595円
寄附金等	62,952円

◇支出 (単位:円)

必要経費	355,716円
------	----------

純利益1,600,831円

この純利益は、下松市共同募金委員会を通じ、市内の福祉事業のために配分させていただきます。

～愛の手で 幸せつなぐ ボランティア～

地区社協の
活動紹介
コーナー

江の浦地区社会福祉協議会 深浦地区社会福祉協議会



山本会長

江の浦地区社会福祉協議会

会長：山本金生 設立：昭和33年5月8日

江の浦地区は、風光明媚な笠戸島のほぼ中央部に位置し、新笠戸ドックの工場を囲む住宅地から県道沿いに国民宿舎「大城」付近まで6集落、約450人が暮らしています。

地元企業の盛衰に人口が左右され、また少子高齢化現象が拍車をかけ、今や高齢化率は平均32%を超えていますが、集落によっては64%を超えているところもあります。

今年3月末をもって、地区のシンボルであった江の浦小学校が閉校となり、時代の流れとは言え、地域の灯りが1つ消えたように感じます。

このような状況の中で、今年新たに「老人クラブ」が復活し、これからはシルバーパワーに大きな期待がよせられています。

現在、地域福祉活動では、敬老会やボランティアによる年5回の笠戸島独居高齢者への配食サービスを始め、江の浦地区の夏まつり・地区民運動会等々、多くの地域行事が行われています。

自治会・公民館・老人クラブ・地域の公的機関・地元企業・民生委員・福祉員・婦人ボランティア、夫々の壁を無くし、地域一体となって「住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくり」を目指し、活動を展開しています。



古谷会長

深浦地区社会福祉協議会

会長：古谷俊治 設立：昭和33年5月13日

風光明媚な笠戸島の南端に位置する深浦地区は、海の幸・山の幸の自然環境に恵まれ、人情豊かな地域ですが核家族化が進み典型的な超過疎・限界地区となり高齢化率も60%を越える状況にあります。

このような中、地域に暮らす住民同士が生活課題・福祉課題を出し合い、自助・共助の精神でお互い見守り・支え合っています。

その中心が地区社協であり、さまざまな課題・問題点を、自治会・民生委員・福祉員・ボランティアグループ等に提起し、台風・大雨・地震・津波等の自然災害の備え・防災グッズの充実を図ると共に、お互いの絆を深め・認め合う為①ふれあい祭り②管絃祭（十七夜）③盆行事④防災運動会等の地区行事を積極的に支援・助成を行い対話の場を提供しています。

社協独自事業としては、敬老会の開催・共同墓地の管理（草刈等）を行っています。「住民が日々安心して暮らせること」を当たり前に、生活課題を中心に今求められていることが支援・実現できるか、具体的には、「配食サービス」「買い物・ゴミ出し支援」「朝夕の見守り、一声運動」等を、今自分にできる事を、隣同士が、地区社協役員が中心となり集約・調整を行い、少ない人材資源を有効活用していきたいと考えています。

「やるのは」「今でしょ」を合言葉に地域福祉の幅広い課題解決に向け、活動を展開しています。



(7) くだまつ社協だより

河内	未武下	東豊井	楠木	東陽	西柳	河内
倉田 靖博様	梅田 房子様	矢野美智子様	横山 智子様	原田 孝子様	相本 茂樹様	清水 幸様
御尊父照雄様	御主人文三様	御主人克太様	御尊父松浦金治様	御主人清一様	御内室サヨ子様	御主人豊秋様
十万円	十万円	三万円	三万円	百万円	十万円	十万円

香典返し



⑤ 善意の花束

社会福祉事業のために、市民の皆さまから、善意銀行に忌明けその他の厚志を含めてたくさんの方の善意が寄せられました。ここに厚くお礼申し上げます。
なお、氏名・金額はご了解いただいた方のみ掲載いたします。
平成26年6月24日〜平成26年9月22日 受付分
(順不同)

潮音町 澤 恒夫様	久保市 玉井 素子様	南花岡 河村 幸子様	東陽 河嶋 昭様	未武下 田中 豊様	金比羅社・天王社祭典委員会様	武田 國彦様	累計 十二回
御内室八重子様	御主人正巳様	御主人敏様	御内室榮子様	御尊父博様	二千六百七十七円	二百円	二千七百九十二円
十万円	二十万円	十万円	十万円	十万円			

一般寄附

平成26年度
「下松市社会福祉振興大会」

- ◇日時 平成26年12月2日(火)
13:30~15:40
- ◇場所 スターピアくだまつ
展示ホール
- ◇内容 手話通訳・要約筆記あり

入場無料

- 式典 13:30~14:00
社会福祉功労者表彰等
- 寸劇 14:00~14:20
- 講演 14:20~15:40



「身近な見守り活動から広がる地域福祉」
講師：九州大学大学院 人間環境学研究院
教授 高野 和良さん

問い合わせ先 下松市社会福祉協議会
TEL 41-2242

興味関心のある方は、是非お越しください。

指定寄附

日立製作所労働組合笠戸支部様	西山ブルーマリナーズ様	サイクルショップくりやま様	交通遺児基金	累計
二十一万二千四百二十二円	二万円	三万円		
一千五百三十万八千四百八十五円		三十三万円		

物品寄附

使用済切手
プルタブ
未使用ハガキ
十五件
十七件
一件



～社協だよりに関するご意見・ご要望・情報をお待ちしております(TEL41-2242)～

中途失聴・難聴者理解及び要約筆記体験講座

手話を日常的に使用しない中途失聴・難聴者に対する支援の方法について学習し、要約筆記と呼ばれるコミュニケーション手段を実際に体験していただきます。

参加には事前の予約が必要となりますので、少しでも興味を持たれた方はお気軽にお問い合わせください。

- ◆日 時 11月30日(日) 13:00～16:00 受付12:30～
- ◆会 場 下松中央公民館 交流室1 (ほしらんどくだまつ内)
- ◆定 員 40人程度
- ◆受 講 料 無料
- ◆申込締切 11月14日(金)まで
- ◆講 師 山口県聴覚障害者情報センター職員

申し込み・問い合わせ先 市福祉支援課障害福祉係(1階⑫番窓口) TEL 45-1835

家庭介護者セミナー 参加者募集

**参加費
無料**

興味のある方ならどなたでも受講できます。ふるってご参加ください！

- 1回のみ参加も可能です。
- 各回とも定員20名。

第1回目 平成26年11月20日(木) 10:00～13:00

内容 **調理実習「高齢者にやさしいお食事～家庭で簡単に作れるソフト食～」**
 講師 特別養護老人ホーム松寿苑 管理栄養士 村上 忍
 場所 下松市保健センター 3階 栄養指導室・第1保健指導室 **エプロンをご持参ください。**

第2回目 平成26年12月4日(木) 10:00～11:30

内容 **「知って楽生活！介護する方、受ける方が心も体も楽になる整理収納術」**
 講師 整理収納アドバイザー 石橋 陽子
 場所 下松市保健センター 3階 第1保健指導室

第3回目 平成26年12月11日(木) 10:00～11:30

内容 **「お世話する人にも、される人にもやさしい介護」**
 講師 山口県作業療法士会 副会長 鹿野博愛病院 作業療法士 中村 敏浩
 場所 下松市保健センター 3階 第1保健指導室

第4回目 平成26年12月18日(木) 10:00～11:30

内容 **「知っ得！高齢者サービスのいろいろ」**
 講師 下松市役所 介護保険係 地域包括支援係 長寿支援係
 場所 下松市保健センター 3階 第1保健指導室

申し込み・問い合わせ先 ※受付は10月27日より開始します

特別養護老人ホームほしのさと 担当:西本・岡寺・阿比留
 TEL 45-3100/FAX 45-3200 電話またはFAXでお申し込みください。